

武藏國并東京古今沿革圖

414
A 1617

三長孫稱率開江圖



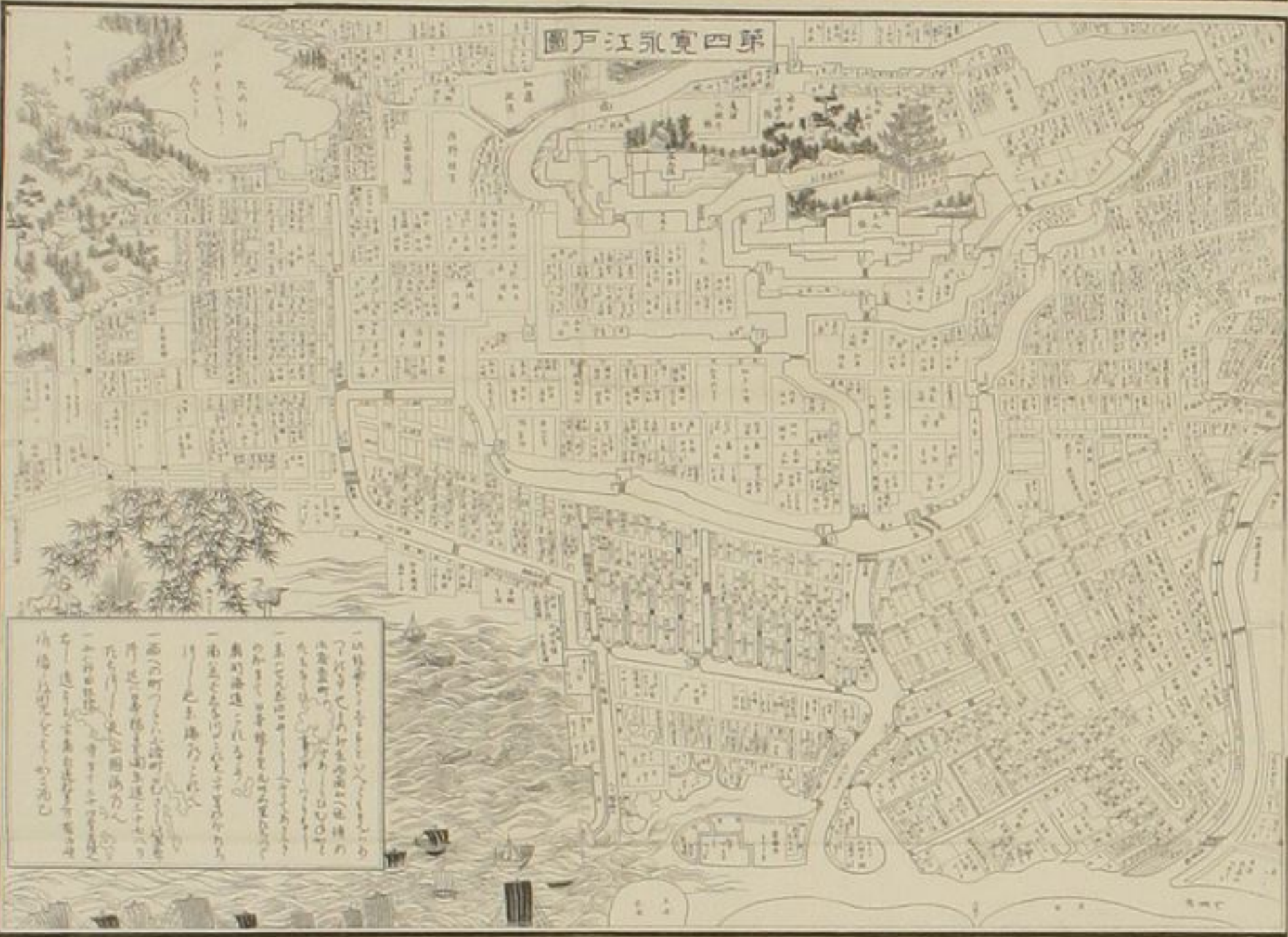
本圖は、大正十一年開河後、
河川の増大、河床の低下、
及び地味の軟弱等、
諸般の事情、
を以て、
今、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

孫堂開東大古地圖像



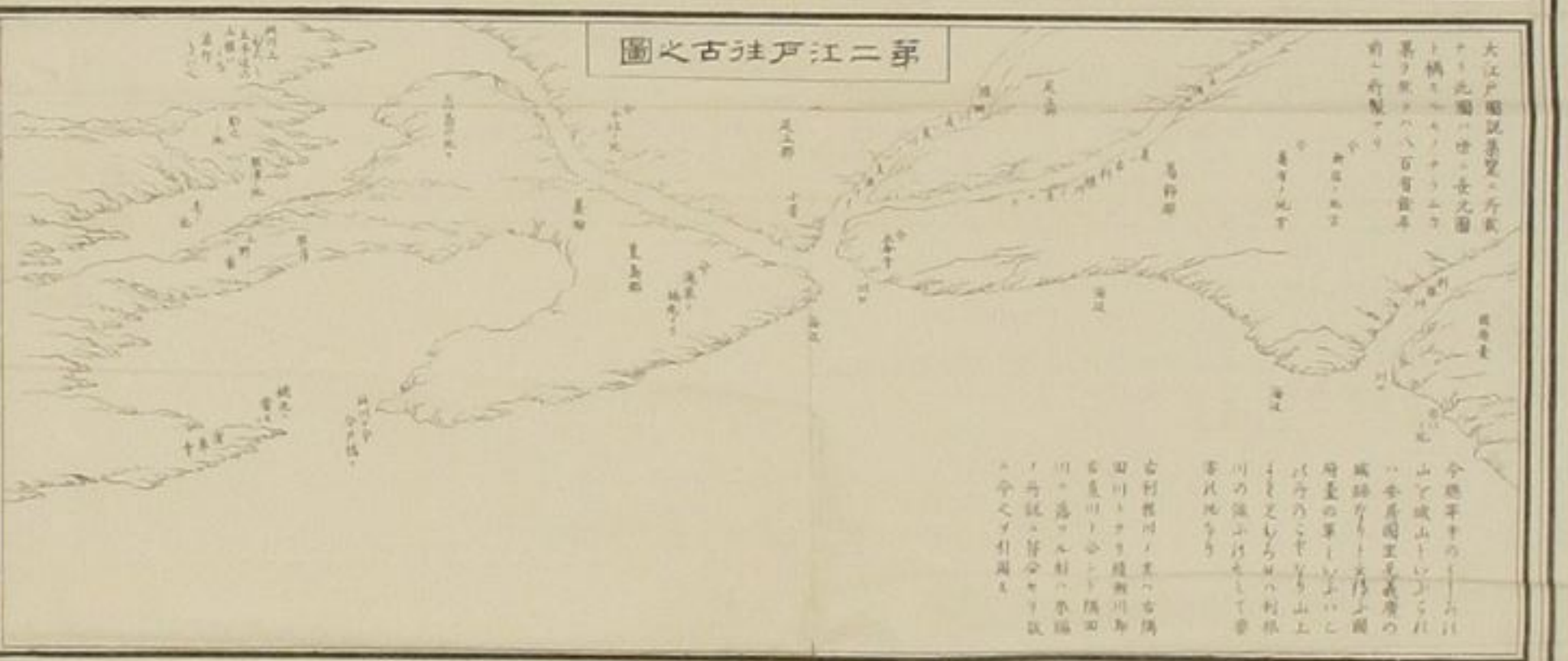
此圖は、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

四野江流江圖



本圖は、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

孫江注古火圖



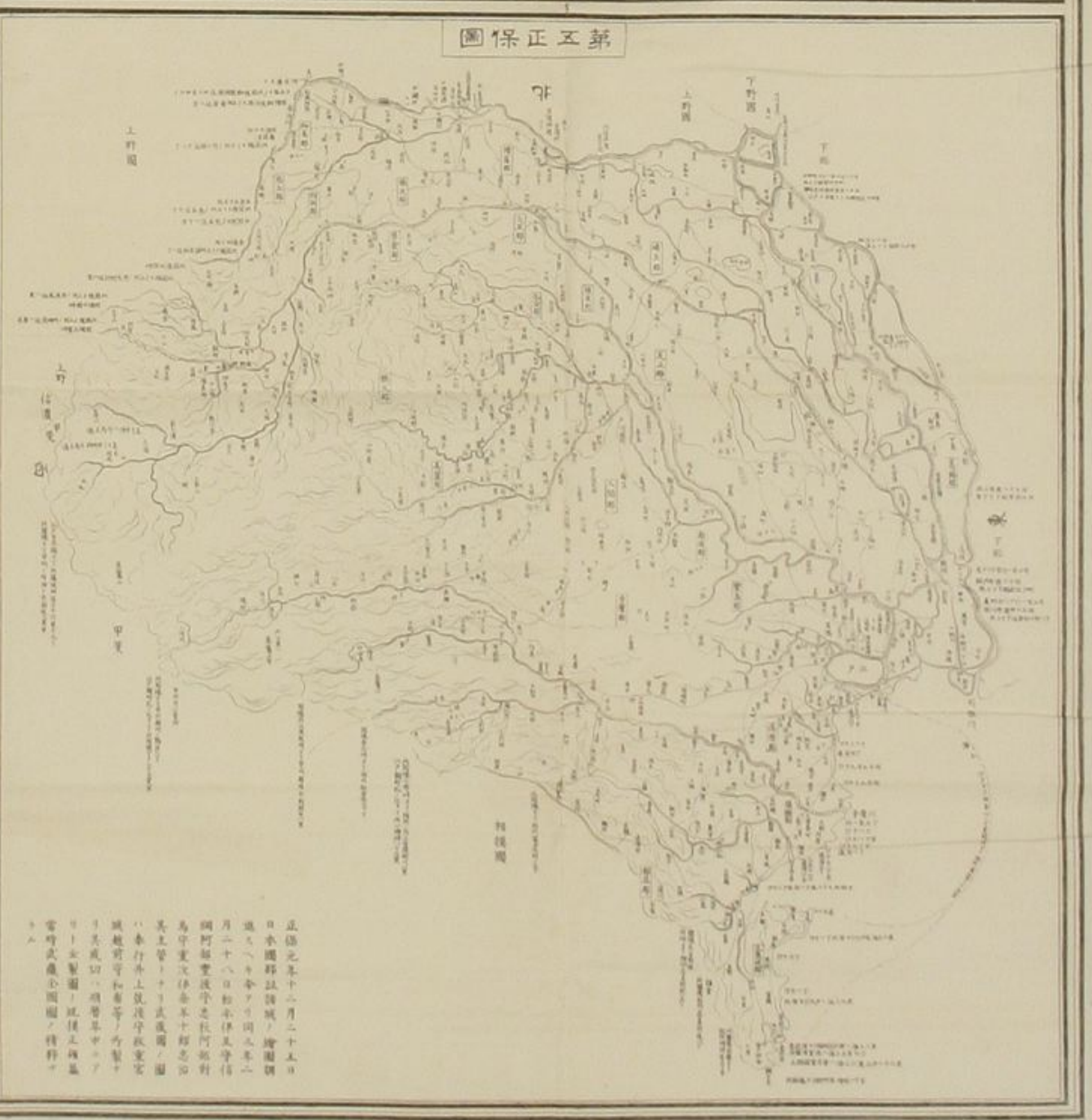
本圖は、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

六東東全圖



本圖は、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

孫五正保圖



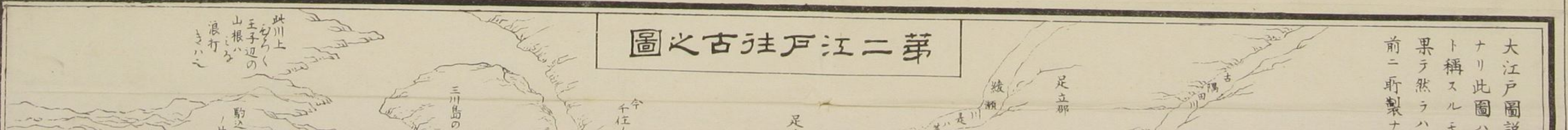
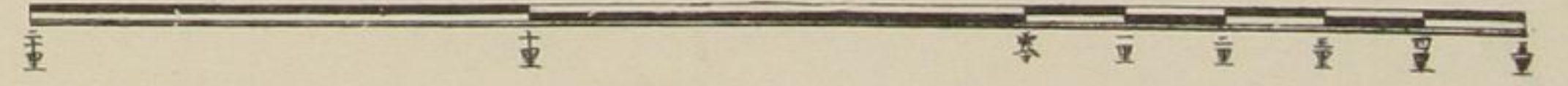
本圖は、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

昔時、
大正十一年、
の、
開河、
の、
後、
の、
河川、
の、
増大、
の、
原因、
を、
調査、
し、
その、
結果、
を、
本、
図、
に、
示、
す。

大馬士 大達
野野 野野

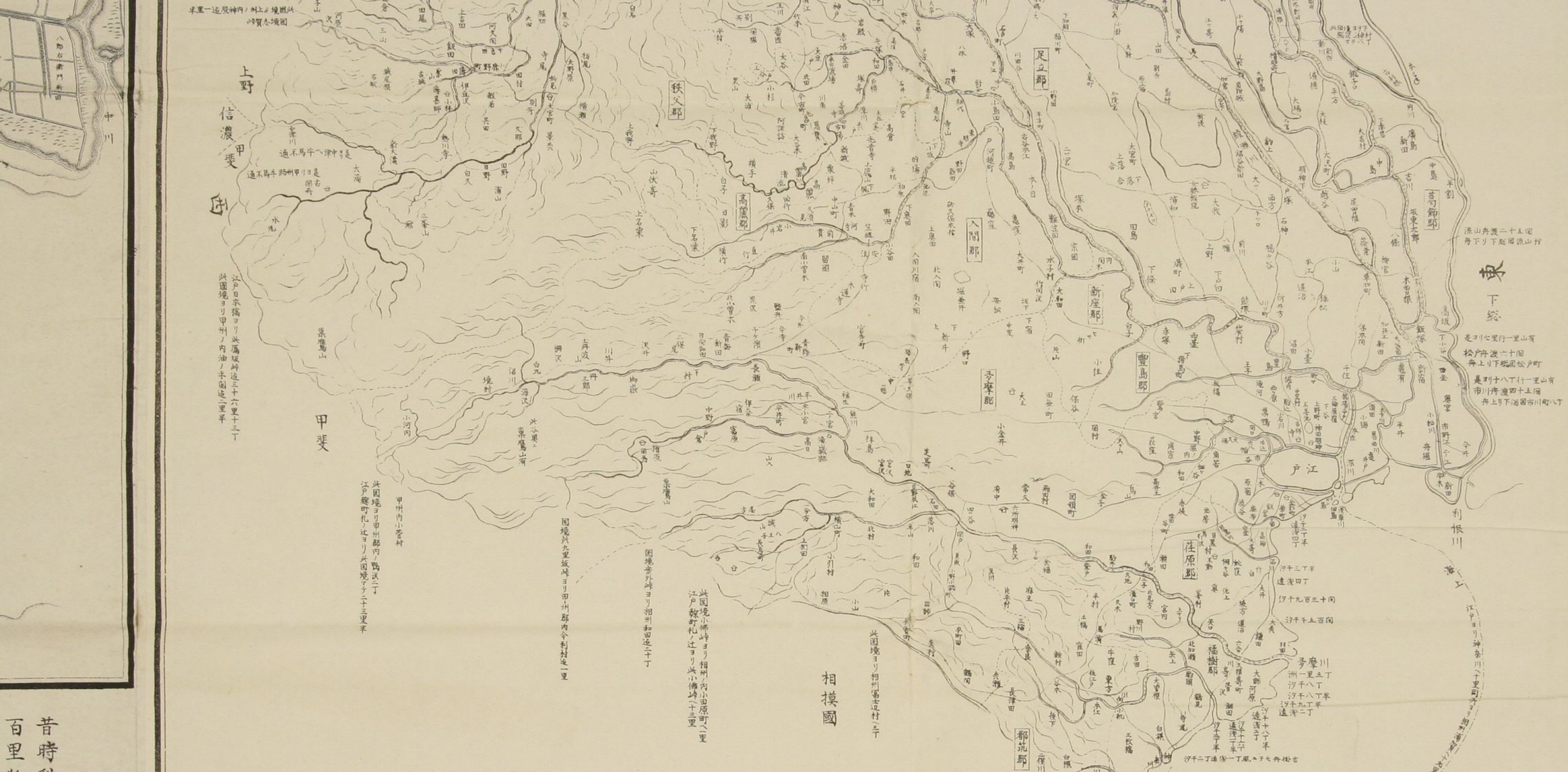


此圖ハ地學上ノ推究ニ依リ太古關東内海ノ大勢ヲ追想シテ新ニ作ル所ナリ其古今變遷ノ由來ハ書中ニ詳ナリ



第二江戸往古之圖

大江戸圖説ナリ此圖ハト稱スルモ果テ然ラハ前ニ新製ナ



正保元年十二月二十五日
 日本國郡並諸城ノ繪圖調
 進スヘキ命アリ同三年二
 月二十八日松平伊豆守信
 綱阿部豊後守忠秋阿部對
 馬守重次伊奈半十郎忠治
 其主管トナリ武藏國ノ圖
 ハ奉行井上筑後守政重宮
 城越前守和南等ノ所製ナ
 リト云製圖ノ規模正確蓋
 當時武藏全國圖ノ精粹ナ
 ラム

昔時秩父ノ山武藏ノ野荊榛
 百里狐兔群ヲ爲ス今日則五

古今沿革圖

刊會協學地

東京
年

第三長祿年間江戸圖

明治十九年三月凡四百二十餘年前成



本圖モ亦大江戸圖說集覽ニ
所載ニノ世々所謂長祿江戸
圖ヲ少ク増補セシモノニ過
キス地形地名トモ史籍ニ所
説ト合ハス故ニ今聊改正ス
ル恥アリ

大海





南の山は侍の
 うらむむむむ
 ありてあつた
 凡の里はたつ
 里のたつた
 海は
 道三十七八
 ありてあつた
 ありてあつた

第六東京全圖



上野
 信濃
 甲斐



上野
信濃
甲斐
通
江戸日本橋ヨリ奥馬場迄三十六里十三丁
此圖境ヨリ甲州ノ内浦ノ千間迄二里半

昔時秩父ノ山武藏ノ野荊榛
百里狐兎群ヲ為ス今日則五
方ノ所聚人烟百萬千里ノ帝
畿タリ古今山河ノ變遷風俗
ノ更革豈啻桑海ノミナラム
ヤ而シテ之ヲ今日ニ詳ニセ
サレハ後世或ハ遺失スル所
アラム余曾テ武藏國并ニ東
京古今沿革ノ事蹟ヲ講究セ
ムト欲シ古今ノ史冊若干ヲ
通覽シ地形ノ變革治亂ノ綱
領ヲ舉テ輯メテ一卷ト為シ
附スルニ此圖ヲ以テス其武
藏并ニ東京古圖ヲ搜索スル
ニ當リ修史館地理局圖書館
及東京府廳ニ就キ請フテ其
所藏ヲ閱覽シ又友人ノ所藏
ヲ借覽スルニ慶長以降ノモ
ノハ大ニ備ハリタレトモ是
ヨリ前代ニ係ルモノハ甚罕
ニシテ而シテ絶エテ精細ノ
モノヲ見ス今古圖中ニテ稍
實ニ近キモノヲ撰ミ之ヲ首
ニ列シ次ニ慶長以下及方今
ノ圖ヲ縮寫并録シテ一幅ト
為シ以テ一目古今ヲ對照ス
ルニ便ス而シテ其要旨出處
年代ノ如キハ各圖下ニ銘記
シテ混淆スルナカラシム
讀者幸ニ圖ト書トヲ執リ彼
此参照セハ旬幾千歳ノ迹ヲ
知ルノ一助トナラム

明治十八年十月

東京地學協會館中ニ於テ

大鳥圭久述

圖者 狩野昭信

リト云製圖ノ規模正確蓋
當時武藏全國圖ノ精粹ナ
ラム